



TITLE:

日米ワンデイセミナー・第13回大学 図書館研究集会の準備

AUTHOR(S):

CITATION:

日米ワンデイセミナー・第13回大学図書館研究集会の準備. 静脩 1992,
29(2): 8-8

ISSUE DATE:

1992-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37159>

RIGHT:

図書館の動き

平成4年度調査研究員の委嘱

附属図書館調査研究員の委嘱が、7月20日の附属図書館商議会において追加承認されました。「漢籍古抄本の研究」

文学部 興膳 宏 教授

電子計算機システム更新の準備

平成6年1月の附属図書館電子計算機システムの更新に向けて、図書館システム更新検討委員会を設置する予定です。今後、同規模大学図書館システムの調査、システム・ベンダー各社への資料請求、仕様書の作成、技術審査等を経て、新システムが選定されることになります。

新規採用職員の研修

7月20日から8月14日にかけて、附属図書館新規採用職員の館内研修が行われました。今年度の対象者は3名で、期間中他掛の業務に従事しながら、館内業務の理解を深めました。

協議会の開催

6月16日、第61回近畿地区国公立大学図書館協議会総会が本学で開催されました。会議のあと、前年度まで附属図書館の調査研究員を務められた文学部の御牧教授が「チベット大蔵経」について講演されました。(本号の巻頭記事参照)

目次

<巻頭記事>

チベット大蔵経..... 1

<資料紹介>

新しいAV資料がはいりました..... 4

本学教官等の寄贈図書を紹介します..... 5

<お知らせ>

マイクロフィルム化資料目録ができました... 6

文献複写がカードでできます..... 6

冊子体の図書目録ができました..... 6

O P A Cのマニュアルが改訂されました..... 6

後記

委員退任に際して一言、広報は表向きの記事を載せるのが使命と思いつつ、週刊誌のように裏面の記事を載せてみたい衝動に駆られました。(小)

自己評価基準検討委員会の設置

大学の自己点検・自己評価については昨年来各大学で取り組まれてきましたが、このたび、国立大学附属図書館の自己評価項目の設定等を目的とする特別委員会が国立大学図書館協議会に設置されました。近畿地区がその担当となり、当館からも1名が同委員会のワーキング・グループに参加することになりました。

日米ワンデイセミナー・第13回大学図書館研究集会の準備

前号でもお知らせしましたように、10月12日に京都外国語大学で標記のセミナーが開催されます。プログラムは下記のとおりです。

10:00 開会、挨拶

10:30 基調講演 Dr. Penniman

"Libraries and Scholarly Communication"

13:00 講演、報告、意見発表、討議

エレクトロニック・キャンパス

学術情報の国際流通

資料の保存

図書館サービスと著作権

18:00 懇親会

本学附属図書館が実行委員会事務局(753-2630)を担当して、現在準備を進めているところです。

<図書館の動き>

平成4年度調査研究員の委嘱..... 8

電算機システム更新の準備..... 8

新規採用職員の研修..... 8

協議会の開催..... 8

自己評価基準検討委員会の設置..... 8

日米ワンデイセミナー・第13回大学図書館

研究集会の準備..... 8

<その他>

O P A C所蔵データ登録状況..... 7

本号から編集委員に就任することになりました。やわらかな紙面づくりをめざしていきたいと思っています。(か)